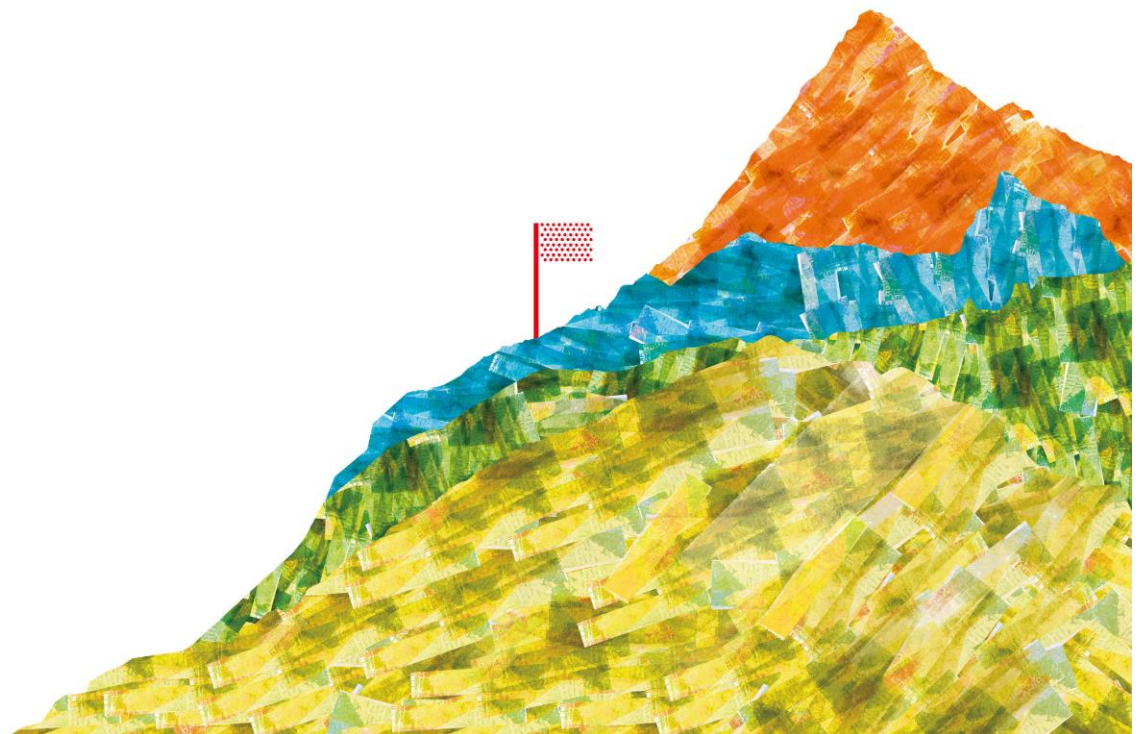


令和2年度 事業報告書

(西東京エリア)



社会福祉法人 こうほうえん

鳥取県境港市誠道町 2083 番地

令和 2 年度事業報告書（西東京 エリア）

1 令和 2 年度総括（成果、反省等を簡単に）

- 1) 向原は開設 7 年目、下落合は 4 年目、上石神井は 2 年目となり、ようやく事業が軌道に乗ってきた。コロナ禍による利用控えを初めとした厳しい経営環境の中でも、全体として確実に利用者数は増えており、収益も伸びている。
- 2) 但し、向原では家賃負担、下落合は減価償却費負担が重荷になっているため、住宅・介護事業は依然として赤字経営が続いている。向原、下落合で夫々採算改善プロジェクトを立ち上げ、人件費・業務委託料等のコストダウンを図っている。
- 3) コロナ禍の影響で、これまで開催してきた認知症カフェ・子育て支援活動・お祭り等の地域との交流活動や、ボランティア・実習生の受入れは、中止または縮小せざるを得なかった。一方、利用者を対象としたレクリエーションは、感染症対策を講じながらできる限り続行し、また、限定メンバーによる地域の会合にも参加した。

2 トピックス（新規事業、重点実施事業等（独自で実施している地域貢献活動含む））

- 1) 向原住宅事業の収支改善に向け、外部コンサルタントを起用し向原プロジェクトを始動した。第一弾として、収益を圧迫しているレストランスペースの有効活用を図っており、NPO 法人と共同で地域に開かれたコミュニティエリアとすることを計画中。
- 2) 下落合介護事業の採算改善プロジェクトを立ち上げた。人件費削減を柱としたコスト削減と、デイハウスの空床利用による収益アップを目指す。
- 3) 上石神井特養は、当年度が一年を通して営業した初年度であり、運営も安定してきた。利用者の出入りはあるものの、全 40 床が埋まっている状況。
- 4) 全国的な感染症拡大を受け、各事業所にて衛生用品の備蓄充実や自動検温装置等の感染症対策機器の設置、BCP の作成と更新、施設内のゾーニングの検討、職員の PCR 検査、施設・住宅・レストランへの外部からのアクセス制限・中止、職員の行動制限等の対応を行った。
- 5) 向原定期巡回は、地域における認知度上昇に伴い、利用者数・収益が増加。また、喀痰・吸引研修（2 名）を修了し、今後この分野での伸びも期待される。
- 6) 上石神井特養がミモテ・ねむりスキャンを導入、ICT 化に取り組んでいる。

3 エリア目標の達成度合とその評価（戦略会議の資料等）

1) 経営の安定化

- ・向原住宅：年間 14 名の退去者が発生したが、待機者リストの更新・内覧会を頻繁に実施する等により全て 1 ヶ月以内で新入居者に入れ替えることができ、稼働率 99%を達成した。経費削減面では、レストランの業務委託料の引き下げ、職員数の削減を実施した。また、来期に向けビルメンテナンス業者と廃棄物収集業者の再選定を行った。
- ・向原定期巡回、訪問介護：事業開始 7 年目でようやく地域に浸透し、利用者が堅調に増えている。喀痰・吸引は研修に時間を要し、本格的なサービスの開始は次年度に持越しとなった。

障がい福祉サービスも当初想定していたより低調に終わった。

- ・向原デイハウス：利用者数が伸び悩んでおり、営業強化が課題。
- ・下落合ショートステイ：周辺に同種施設が増えて競合が激化している中で、コロナ禍による利用控えが重なり、厳しい経営が続いた。営業の強化と人件費の削減により、採算改善に取り組んでいる。
- ・下落合デイハウス：開業４年目で周辺の地域包括センターからの紹介が増加傾向にある。利用者数が堅調に伸びており、収益が改善した。
- ・上石神井特養：事業開始２年目で運営が軌道に乗り、稼働率 95%と安定している。

2) 地域に開かれた施設作り

これまで地域との交流イベントに積極的に取り組んできたが、当年度はコロナ禍の影響で軒並み中止となった。

(中止となった主なイベント)

- ・認知症カフェ「レインボーカフェ」
- ・地域の子育て支援「向原のびのびクラブ」「下落合おひさまクラブ」
- ・在宅生活を支える勉強会「寺子屋むかいはら」
- ・近隣福祉施設との共催「かけはし祭り」

3) サービスの質の向上

- ・事業所内研修を定期的に行い、職場内での情報共有と継続的な話し合い、接遇チェックリストの活用を通じ、接遇力の向上を図っている。
- ・リスクマネジメント研修、BCP の作成とアップデートを実施。
- ・生活支援技術の研修実施。
- ・利用者へのアンケート実施による満足度向上。
- ・事例検討会への参加。
- ・向原住宅で夜間対応サービスを導入し、入居者・ご家族の安心感向上に寄与。

4) 人財の育成

- ・介護職員の育成、定着を図るため、東京都キャリアパス導入促進事業を活用し、評価者（アセッサー）及びレベル認定の取得を推進した。
- ・コロナ禍の中でもオンラインを活用し、外部研修、法人研修への計画的な参加を積極的に促進した。
- ・介護福祉士試験合格をサポート。受験した 7 名が全員合格した。

4 入所系事業所（デイハウスは登録人数）の稼働率の推移（稼働率：小数点第 1 位）

事業所名	定員（人）	令和 2 年度（%）	令和元年度（%）	平成 30 年度（%）
コーシャハイム向原	50	99.1	99.4	98.8
デイハウスむかいはら	27	82.7	83.5	88.9
デイハウス下落合	27	77.7	84.0	60.0
ショートステイ下落合	27	85.8	84.0	76.2

特養上石神井	40	96.3	61.9	—
ショートステイ上石神井	4	9.5	0.5	—

5 各エリアの取り組み実績

年間行事一覧	○お花見 ○端午の節句 ○七夕 ○長寿を祝う会 ○クリスマス ○新年会 ○節分 ○お誕生会 ○入浴祭り(柚子湯、代わり湯) ○正月(絵馬、書初め) ○食に関する行事
エリア内研修状況	○事例検討会 ○身体拘束・虐待研修 ○接遇と感情のコントロール研修 ○新人研修 ○3～4年目研修 ○中途採用者研修 ○リーダー層研修 ○介護職にできる医行為でない行為研修 ○キャリアパス対応生涯研修初任者コース ○職場のハラスメント研修 ○コミュニケーション研修 ○メンタルヘルス研修 ○リスクマネジメント研修 ○感染症予防研修 ○東京エリアユマニチュード研修 24回/年 ○西大井新人中堅研修 12回/年 ○介護福祉士実務者研修 ○生活支援技術研修
エリア内会議、委員会活動	【月例会】 ○西東京エリア調整会議 ○下落合定例会議 ○上石神井定例会議 ○向原プロジェクト会議 ○サービス付き高齢者向け住宅定例会 ○介護管理者ミーティング ○住宅相談員会議 ○定期巡回訪問介護定例会 ○ステップアップ ○エルダー・研修検討係 ○安全衛生委員会 ○レストラン運営会議 ○ユニット会議 【定例会】 ○苦情解決第三者委員会 ○広報委員会 ○介護研修会議 ○職員会議 ○デイハウス定例会 ○リーダー会議

	○おもてなし係 ○多世代交流係 ○栄養会議連携会議 ○レク・生活リハビリ・ボランティア係
委員会活動等の 成果・実績・反省	○コロナ禍の中でTV会議システムを有効活用し、定例の委員会、部会、会議をほぼ予定通り開催した。対面会議と比べると、事業所間の移動に要する時間が節約できるため、かえって出席率が高くなるというメリットもあった。 ○感染症対策、BCP作成、メンタルケア等、事業所単位ではまだ十分にノウハウが蓄積されていないため、委員会活動を通じた情報の共有が一層重要となる。 ○コロナ禍の影響により、認知症カフェ(料理倶楽部月2回)の開催が出来なかった。

6 人財状況

外部研修等講師派遣 実績	
外部役職就任状況	
外部表彰受賞状況	

7 地域貢献実績（保育所含む）

実習受け入れ実績 <u>延人数 61 人</u>	○東京家政大学 ○淑徳短期大学 ○実践女子大学 ○武蔵野大学 ○成徳短期大学 ○草苑保育専門学校
ボランティア受け入れ実績 <u>延人数 102 人</u>	○歌 ○フラワーアレンジメント ○傾聴 ○ハーモニカ演奏会 ○コーラス
見学受け入れ実績 <u>実人数 227 人</u>	○施設利用希望見学者 ○学生の見学（就職） ○区役所職員
地域交流活動実績 1 <u>実施回数 1 回</u> <u>延人数 4 人</u>	（事業所内又はこうほうえんが主催した交流事業） ○上石神井特別養護老人ホームとの職員交流

地域交流活動実績 2 実施回数 4 回 延人数 4 人	(地域の交流事業に利用者と共に参加したもの) ○大谷口支え合い会議参加
ボランティア・環境活動参加実績 1 投入人数 465 人	(清掃活動・消防団活動・地域防災活動等) ○施設周囲の清掃活動
ボランティア・環境活動参加実績 2 投入人数〇〇〇人	(見守り活動・学校活動の手伝い等)
地域発信活動実績 (介護、看護の日、イベント開催等)	○12/5 練馬区施設長会主催「#FACT」への協力
地域発信活動実績(認知症サポーター養成講座)	回数、養成者数、資格者投入人数は、必ず記入してください。 ○1/19 認知症サポーター養成講座 ⇒コロナの為に中止
地域発信活動実績 (講習会、講演会の主催及び参加等) 15 人	○出産を迎えるお母さんの体験 ○子育て講座「離乳食の進め方」



社会福祉法人 こうほうえん

令和3年6月24日

社会福祉法人こうほうえん

〒684-0063 鳥取県境港市誠道町 2083 番地

法人本部事務局

〒683-0853 鳥取県米子市両三柳 1400

TEL (0859) 24-3111 FAX (0859) 24-3113
